

ひまわり通信

SSKS
No.105



第十七回通常総会(通算26回)無事終了!

代表理事 隅 一 清

コロナ禍で、開催が出来なかった総会が、三年ぶりに開催することが出来ました。会場は、広くて使い勝手の良いキャロットタワーの二十六階の展望レストランが使用されました。

十時から、別室で理事会を開き、総会の進行、議長の選出方法、来賓の方々の案内などを打合せしました。

十一時に代表理事の挨拶から始まって、令和三年度の事業報告、会計報告、移送事業が終わり、監査報告も終わり、令和四年度の予算案も無事に承認されました。

来賓の方々からご祝辞を頂き、皆さんお待ちかねの祝宴が開かれました。

お酒もワインも、飲み放題なのですが、皆様、寄る年波なのか、あまり飲まれていない様でした。

恒例のアトラクションは、實井氏のご厚意で、オペラ歌手の金幸子さんと、ピアノ奏者の大竹くみさんに来て頂き、素晴らしい美声とピアノ演奏を披露され、出席者の皆さんと懐かしい歌

を歌って、楽しい時間を過ごしました。久しぶりに、会員の皆様の笑顔に会え、美味しいお酒も飲めて、日常が戻ってきた感じ

令和4年度 役員名簿

代表理事	隅 一 清	(ひまわりの集い・移送事業総括)
副理事長	宇津木 雅 之	(車両整備担当)
理 事	加 藤 衛	(ひまわりの集い・書道教室担当)
	佐 藤 裕美子	(㈱オレンジケアライン)
	榎 井 祐 子	(会計補佐・安全運転管理者)
	實 井 茂 人	(サニー・けあサポート代表)
	石 井 啓 子	(コーディネーター・会計)
	泉 谷 一 美	(世田谷区福祉移動支援センター「そとでる」)
	田 端 義 光	(利用者)
	平 野 和 人	(利用者)
監 事	櫻 村 兌 子	(移送ドライバー) 【順不同】

がありました。この稿を書いている時でも、一日三万〜四万といった数字が報道されています。しかし、国は何の宣言も出していません。少し前の七千〜八千人の発症で出していた、緊急事態宣言は何だったのでしょうか？

国の財源も底をついたので、これからは自然淘汰を待つしか、手がないのでしょうか？

最近のコロナウイルスは、二日〜三日で普通に戻るのかで、隔離期間も短縮されてきました。マスクも熱中症の方が恐いので、人と対話をしない時は、外している人が多くなりました。

今日のニュースで、子供さんを預ける施設でコロナが広まって、施設の運営が出来ない状態になっていると報道されましたが、子供を預けて働きに行く母親が働きに行けないのも困った問題です。

これから秋にかけて、物価の上昇が懸念されているので、仕事に行けないと家計も大変になってきますね。

早く普通の日常が送れる日が、待ち遠しいですね！



少年時代の私へ

理事 平野和人

少年時代の私に手紙を書いてみました。

世田谷で生まれ育った私もすっかり高齢者とよばれる年齢になりました。一九六四年の東京オリンピック終了後から町は大きく変わっていききました。高速道路が出来て地下鉄が走るようになりました。科学技術の進歩でパソコンやインターネットが使えるようになると、自宅で商品を購入したり、会社もテレワークが出来るとなりました。これ以外にも世の中は色々な面でも便利になりましたよ。

その反面、身の回りの環境も変化して来ました。特に気になったのが気候変動です。

昔の東京の夏は暑くてもせいぜい気温二十九度くらいだったように記憶しています。日中でも窓を開けていれば涼しい風が入って来ました。遊んで帰ってくると冷えたスイカやかき氷を食べるのが楽しみでした。扇風機やうちわを使えばさらに涼しかった。たまに三十度という日があっても湿度が低かったのです。ぎ易かったです。外でも木陰に入ればスーと涼しい風が吹いて来て気持ちが一服しました。夜は網戸にして窓を開けたままでも寝られましたよ。そんな昔を最近思い出します。あの頃は良かったな。

あれから五十年が経ちました。

今、東京の夏は年々厳しくなっています。特に今年には気温三十五度以上の**猛暑日**が数日間続くことがあり、四十度を超える都市も出てきています。体温より高い気温なんて信じられないでしょうね。危険な暑さが予想される日は**熱中症警戒アラート**が発令されるので、不要不急の外出を控えたりします。

高温多湿なので室内・屋外では**熱中症**で倒れて

救急搬送される人もいます。室内でもエアコンを適切に使用し、水分補給に努めなければいけません。夜でも気温が二十五度以下に下がらない**熱帯夜**も当たり前でエアコンなしでは熱中症になる可能性があります。

屋外で工事をすると人たちは腰の両側に小型扇風機が付いた**空調服**を着ています。それでも、三十分おきに休憩と水分補給をしていると聞いてます。大変な仕事ですよ。町を歩くと手に小型扇風機を持った若い人や首に**冷感タオル**を巻いた人を見かけます。

ひとりひとりが暑さ対策をしています。まさに命に係わる暑さの中で生活しています。雨の降り方にも大きな違いが出てきています。一時間に百ミリを超えるような大雨が当たり前になっていきます。

突然雨雲が発達して局地的に大雨になる**ゲリラ豪雨**や雨雲が線のように連なり同じ場所に数時間留まって激しい雨を降らせる**線状降水帯**の予報も始まりました。大雨で川が氾濫して住宅などが浸水したり車が立ち往生したりしています。交通インフラにも大きな影響が出ています。こうした暑さや大雨は**異常気象**と言われていますが、大きくみると**地球温暖化**が影響している可能性があるので。

この先どのようなようになっていくのかとても心配ですよ。

五十年後の私からもし手紙をもらう時にはこうした**異常気象**が大きいく緩和されていることを願っています。人類にとってかけがえない地球。大切にしたいですね。



※赤字の言葉は五十年前には使われていなかったと思われま

ひまわり句会

菅野孝夫 選

作 田 志津子

春の雲山なき街の夕日かな
伸ぶるたび青さを増して今年竹
折りたむ傘の滴や走り梅雨
夏場所や力士の背の溜り砂
青梅や紅ぼんのりと色づいて

宮 澤 ミどり

やはらかな春の日差に犬の足
夕暮れて花のさかりの祐天寺
雨の日や筍飯のやや硬く
午後からは雨雲の出でセラニーム
包丁や大きな西瓜目の前に

大 谷 のり子

降り出しの雨のひとすぢ白牡丹
木苺の花咲く道や海開け
風に吹かれて森青蛙の卵
テント場の闇となりたる水の音
夏雲や空飛ぶ犬とフリスビー

亀 井 歌 子

ポストまでゆつくり歩く花の雨
風光る花の手入れに時忘れ
轉に目覚めて今日の良き日かな
仰ぎ見る煉瓦の駅舎夏帽子
亡き人のメールの残り梅雨に入る

藤 田 勝 美

来し方をつくづく思ふカーネーション
あぢさゐの芽立ちに朝の光かな
梅仕事一日夢のやうに過ぎ
新品の千支のぐい呑冷酒酌む
悲しみを背負ふまはりウクライナ

羽 山 貴 子

葉陰から飛び立つ蝶や朝の風
落ちてなほ命の見ゆる椿かな
花冷や乗換駅の地下迷路
梔子の香る夜道や立ち止り
川端や姫女苑の紫飛び散りて

行事報告

◎六月十九日(日) 総会・懇親会スナック



◎八月暑気払い会は中止いたしました。

行事予定

◎九月日帰りバス旅行 甲府ぶどう狩り

久しぶりに、甲府のぶどう園でぶどう狩りを
 楽しみたいと思います。

ぶどうの品種によって、料金も異なるので
 が、今回は巨峰の食べ放題とお土産付きのコー
 スです。

ぶどう狩りの後は、バーベキューを楽しみます。

・日時 九月二十五日(日) 九時出発

・行程 野沢く永福ICく中央道く
 談合坂SA(トイレ休憩)く

勝沼IC下車く浅間園(ぶどう狩
 り・昼食)十五時発く野沢

・参加費 一人五千円(個人移送料別途千円)

※世田谷区のバスを利用します。

※参加希望者は、九月十日までに事務所へ
 連絡下さい。



◎秋の一泊二日研修旅行 石和温泉から身延山の旅

今年の研修旅行は、甲府の昇仙峡を見学して、
 石和温泉に泊まり、翌日は身延山に行き、中部
 横断道で清水に出て、東名高速で帰って来ます。

・日時 十月十五日(土)く十六日(日)

・行程 野沢く永福ICく中央道く談合坂
 SA(休)く勝沼く甲府昭和IC下
 車く昇仙峡見学く影絵の森美術館
 (見学・昼食)くシャトレレーゼ石和
 (旧かんぼの宿石和)泊

二日目

宿く甲府昭和ICく中央道く双葉
 JCく中部横断道く身延山IC下
 車く身延山見学くゆばの里(昼食)

く南部ICく新清水JCく新東名
 高速く駿河湾沼津SA(休)く海老名
 SAく野沢

・参加費 一人 二万円く二万五千円

※チャリティ協会の助成を受けるので、障がい
 者の参加人数によって、金額が変わります。

※バス代とボランティア経費の一部に、加藤
 きよ基金を使用します。

※参加希望者は、九月十日までにお申し込み
 下さい。

※チャリティ協会の助成を受けるので、障がい
 者の参加人数によって、金額が変わります。

※バス代とボランティア経費の一部に、加藤
 きよ基金を使用します。



◎連協・福島施設見学会

十月三十日(月)～三十一日(月)

九月四日(月)～五日(火)、三年ぶりに予定していましたが、連協の被災地訪問の旅行は、十月に延期になりました。

・日 時 十月三十日(月)～三十一日(月)

※出発 上町駅付近 九時

・行程

上町～三軒茶屋～首都高速～常磐道～守谷SA(休)～友部SA(休)～いわき湯本IC下車～いわき震災未来館(見学)～いわき湯本温泉(泊)

二日目

宿～東日本大震災原子力災害伝承館(見学)～小名浜ら・ら・みゆう(昼食)～勿来IC～常磐道～上町

・参加費

一人 一万円
 (二日間の昼食費は各自負担)

※参加希望者は、九月五日までにお申し込み下さい。



令和元年度連協施設見学会スナップ



編集後記

秋田県の男鹿半島に、『なまはげ』を見に行つて来ました。東北道を盛岡まで走つて、田沢湖畔に一泊しました。

翌日、なまはげ館に行つて、なまはげの実演を見て、山形県の銀山温泉に泊まって来ました。

一度は行つてみたいと思つていた銀山温泉は、宿もお風呂も最高でした。

三日間で、一五〇〇キロ近く走つたので、同行者が「ほとんど車中の旅だ。」と言つてましたが…。

帰りには、松島によって、海鮮料理を食べて来ました。ドライパー三人に、感謝しています。ありがとうございました。(S記)



「ひまわり通信」105号

2022年8月31日発行

編集

特定非営利活動法人

編集責任者

ヒューマンハーバー世田谷

住所

世田谷区野沢3-4-18-102

発行人

障害者団体定期刊行物協会

発行日

03-3422-9281

発行所

03-3487-5081

発行日

世田谷区砧6-26-21

発行所

(定価100円)